

歓喜の瞬間！！ラグビーワールドカップ2019 『日本vsアイルランド』観戦記

細田木材工業(株)

細田 俊輔

冬枯れの芝の秩父宮ラグビー場に親父と行ったのは、何年前だろう？40数年振りの親父とのラグビー観戦がラグビーワールドカップ・アイルランド戦になった。静岡県小笠山総合運動公園エコパスタジアム W22-05-9席。

アイルランドの熱いサポーターがビールを片手に思い思いに歌い盛り上がっている。雰囲気はまるでイギリスのラグビー場のようだ。

大会ボランティアは、入場から席の案内、売店トイレの場所案内などとても親切な対応。日本を後押ししているよう・・・静岡の『おもてなし』の雰囲気がとても温かい。大学時代から日本代表を応援してきた友人のSさんと記念撮影をする。彼と偶然にもスタジアムで再会できるなんて本当にラッキー。日本の勝利をここで予感した。

試合前のアップが終わり、いつものスタイルでロッカールームへ向かう。日本代表が『ワンチーム』であることを象徴する姿であります。



強豪相手に少し緊張気味？



とても綺麗なエコパスタジアム



友人と記念撮影



ロッカールームへ『ワンチーム・ワンハート』

キックオフの時間が近づき、選手入場。
試合前の『君が代』・『アイルランズ・コール』の
大合唱。

ラグビーにおいては、北アイルランド(英国に
帰属する)・アイルランドがラグビーのアイルラン
ド代表として1つのチームを構成しています。北
アイルランドとアイルランドは政治的に複雑な関
係にあるが、ラグビーでは国境や宗教の壁を越え
て結束している。アイルランド代表の団結の象徴
である『アイルランズ・コール』を歌う。クリーン
で良いプレーを見せてくれ!と願いながら。



個人的にはMVP稲垣選手

試合経過 前半アイルランドの2トライ、攻め
られるも日本はスタンドオフ田村のペナルティ
ゴールにより9-12で後半へ。ブレイクダウンや
その周辺の攻防で互角の戦い。後半途中交代で
入ったウィング福岡にボールが繋がり逆転のトラ
イ。その後お互いに攻め合うが、80分のホーンが
鳴り相手スタンドオフがキックで蹴りだし、歓喜
の瞬間ノーサイド。



日本の勝利を祝う花火が上がる

勝因は、スクラムの安定、しつこいディフェンス、低いタックル、すなわち規律を守り耐えたことが
あげられます。日本代表の一人一人は、極限状態でのプレーが前半後半と強いられる中、目の前で起こっ
た一つ一つのプレーを考えて行ったのではなく本能で戦っていた。それも個人ではなく、チームとして
の本能だ。それには、緻密な分析、過酷なトレーニング、やれることはやり尽くした自信と確信を持っ
たプレーが通用した。積み上げてきたものを実践した結果だ。これまでの日本代表を超えたと感じた。今
後のサモア、スコットランド戦も益々楽しみになってきました。

観戦後記

その後、日本は予選プールを1位で勝ち抜いた。準々決勝で南アフリカの屈強なフィジカルに屈し、日本代表のワールドカップは終わった。開幕戦から1ヶ月こんなにドキドキして、次の試合が楽しみなひと時は、とても幸せだった。

ラグビーファンのみならず、国民全体を熱狂させ、日本中の皆が、ラグビー日本代表を心から応援し、選手はパワーに変えここまで来た姿はカッコ良かった。最後の南アフリカ戦のように、ラグビーは、試合中にうまくいかないこともあるが、間違いなく多くの感動を与えてくれる。大会開催前より広がったラグビーブームが定着し、ラグビーを文化としてとらえる深い愛情が日本中の人の心に根付けばいい。今大会中に、ニュージーランドチームから始まった、試合後のファンに対する『おじぎ』という日本の文化が、ワールドカップの文化に今後追加されることになったら、私自身とてもうれしく思う。

最後に今大会を日本で開催できたことに対し、選手・スタッフの皆様、ワールドカップ組織委員会・大会ボランティアの皆様、そして日本代表を後押ししたラグビーファンの皆様にあらためて感謝の思いを伝えたい。

そして、この感動を数十年後に日本で味わいたい。

最後に、アイルランド戦開始前のロッカールームでジェイミー・ジョセフヘッドコーチが選手に向けた言葉で締めくりたい。

No one thinks to win

No one thinks it will be close

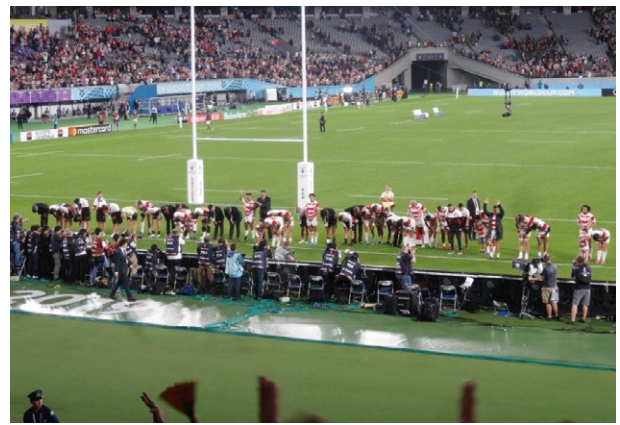
No one knows how much we are

I don't know if he's sacrificed.

Only we believe.

誰も勝つと思ってないし、誰も接戦になると思ってないし、誰も僕らがどれだけ、犠牲にしてきたのか分からないし、信じているのは僕たちだけ。

一部写真は、www.rugbyworldcup.com より



試合後ファンにあいさつする日本代表チーム



南アフリカ・コリシ主将がウェブ・エリスカップを掲げる瞬間